

2016年1月22日

イエス・キリストにおいて兄弟姉妹の皆様

日本カトリック司教協議会
会長 岡田武夫 東京大司教

ユスト高山右近の列福の承認に当たって

兄弟姉妹の皆様、今日は、日本の教会にとって、大変喜ばしいお知らせをいたします。教皇フランシスコは、日本時間の1月21日、神のしもべユスト高山右近を殉教者として列福することを承認する教令に署名して下さり、同1月22日午後8時にその発表がありました。列福式の日取りと場所、司式者は、今後、当司教協議会と教皇庁国務省が相談して決定する予定です。

信仰は、理論や理想よりも、むしろ神の愛と出会うことから生まれ、育ちます。信仰をもつに至る最後の決め手は、神の愛に出会った人のあかしによります。その中でも最高のものは、いのちを懸けたあかしです。神の愛がまことの救いであることを、いのちを懸けて証明する人がいて初めて、神の福音が真正であることが分かります。

右近は、大名の立場にありましたが、世の富や名誉、権力に勝って、神の愛こそが、人を幸せにすることを確信しました。そしてどのような誘いや迫害にあっても、また祖国を追われても、その確信に生き、生涯を閉じた人です。

時代は大きく変わっても、そのメッセージは、変わることなく、私たちの信仰を強め、福音宣教への力になることと確信します。右近をとおして神から与えられためぐみについて深く思い巡らし、感謝しながら、列福式の準備を進めて参りましょう。

以上